

休眠期の薬剤散布の選択について

平成 29 年 3 月

JA 中野市園芸課

発芽前の休眠期の薬剤散布については品目により複数体系からの選択性となります。栽培地帯や生育の進み次第で薬剤が変わりますが、選択については下記を参考にしてください。(詳しくは各種特報をお読みください)

品目名	体系	備考 (対象)
りんご	石灰硫黄合剤 10 倍 + スプレーオイル 50 倍	総合 (腐らん病他)
	ベフラン液剤 1,000 倍 + スプレーオイル 50 倍	腐らん病・黒星病他
	トレノックス F 500 倍 + スプレーオイル 50 倍	腐らん病・黒星病他
もも	トレノックス F 500 倍 + スプレーオイル 50 倍	せん孔病・カイガラムシ類
	キンセツ水和剤 1,000 倍 + スプレーオイル 50 倍	〃
	スプレーオイル 50 倍単体	カイガラムシ類
	石灰硫黄合剤 10 倍単体	総合 (胴枯病他)
プラム	石灰硫黄合剤 10 倍単体	総合 (胴枯病他)
	スプレーオイル 50 倍単体	カイガラムシ類対策
	トレノックス F 500 倍単体	ふくろみ病対策
	トレノックス F 500 倍 + スプレーオイル 50 倍	ふくろみ病・カイガラムシ類
和梨	キノンドー F 1,000 倍 + スプレーオイル 50 倍	黒斑病・カイガラムシ類
	石灰硫黄合剤 10 倍 + スプレーオイル 50 倍	総合 (胴枯病他)
	スプレーオイル 50 倍単体	カイガラムシ類
西洋梨	石灰硫黄合剤 10 倍 + スプレーオイル 50 倍	総合 (腐らん病他)
	トップジン M 水和剤 1,000 倍 + スプレーオイル 50 倍	腐らん病・カイガラムシ類
	スプレーオイル 50 倍単体	カイガラムシ類

注意事項

- ① 石灰硫黄合剤：発芽前散布 7～10 倍 ⇒ 発芽以降散布しない
- ② スプレーオイル (マシン油)：発芽前散布 50 倍 ⇒ 発芽～発芽 7 日以内 100～200 倍
- ③ 殺菌剤使用：ベフラン液剤、トレノックス F、キノンドー F、トップジン M 水和剤等の年間使用回数・使用時期は厳守してください。例：りんごベフラン液剤 (イミノクタジン成分を含むダイパワー水和剤等も併せて) の開花期以降は 3 回までの使用規制あり。
- ④ 発芽期以降に合剤を散布すると薬害が発生危険性が高いので注意する。